

# 令和7年度 第1回丹波篠山市図書館協議会次第

日時 令和7年7月9日(水)13:30～

場所 丹波篠山市立中央図書館 視聴覚ホール

1 開 会

2 委嘱状交付

3 あいさつ

4 自己紹介

5 会長・副会長の選任 会長( ) 副会長( )

6 報告事項

(1) 令和6年度図書館事業報告について ..... P. 2

(2) 令和6年度図書館利用状況について ..... P. 9

(3) 令和7年度図書館主要事業の概要について ..... P.10

7 協議事項

(1) 図書館ビジョンに基づく令和8年度事業に向けて

(2) 令和7年度図書館協議会委員視察研修について

8 その他

9 閉 会

## 丹波篠山市図書館協議会委員名簿

任期：令和7年4月1日から令和9年3月31日

	区 分	氏 名	職 名	備考
1	学校教育関係者	細見 泰弘	丹波篠山市小学校教育会図書館部会部長 (今田小学校長)	
2	学校教育関係者	木村 研	丹波篠山市中学校教育会図書館部会顧問 (篠山中学校教頭)	
3	社会教育関係者	福西寿美子	丹波篠山市社会教育委員・公民館運営審議会委員	
4	家庭教育の向上に資する活動を行う者	中西 文枝	ささやま図書館友の会代表	
5	家庭教育の向上に資する活動を行う者	小山 三智子	篠山ストーリーテリングの会代表	
6	学識経験者	長澤 一正	元篠山市立中央図書館長	
7	公募	仲谷 洋介	公募委員	

# 令和6年度図書館事業報告

「丹波篠山市立図書館ビジョン」による図書館運営  
 基本理念『本と出会い 人と出会い 学びを楽しむ 知の広場』

## 1 令和6年度図書館管理運営費

### 【決算見込み額】

(単位：円)

事業名	令和6年度	令和5年度	増減額	主項目
図書館業務費	24,905,427	29,871,402	▲4,965,975	資料購入費他
図書館事業費	484,540	282,299	202,241	講演会費用他
施設管理費	17,295,642	21,124,427	▲3,828,785	施設管理委託料他
会計年度任用職員関係	40,490,963	32,590,539	7,900,424	報酬、費用弁償他
決算額	83,176,572	83,868,667	▲692,095	

- ・図書館業務費：地域新聞（篠山新聞約 3,000 頁）電子化業務を行った。決算見込み額の減額は、前年度に実施した図書館システム変更が影響。
- ・図書館事業費：講演会等を開催した
- ・施設管理費：トイレの温水シャワー便座（男 2、女 3）を設置した。決算見込み額の減額は、前年度に実施した屋上防水や駐車場区画線等の工事了が影響。
- ・会計年度任用職員関係：職員の内訳としては、令和6年度は司書 8 名、補助員 3 名であった。報酬及び手当等の見直しによって大幅な増額となった。

## 2 事業報告

### (1) 市民の知的欲求に応え、だれもが快適に利用できる図書館

#### ①利用者サービスの充実

#### ○出張図書館

子育て支援の一環として子育てふれあいセンターと連携し、同センター登録グループの活動日にあわせて実施。その他、文化の祭典城東会場・多紀会場で開催した。

	日程	開催場所	参加人数			新規登録	貸出冊数
			大人	子ども	計		
1	7月23日	社会福祉協議会事業 (図書館活用について)	8	7	15	0	0
2	11月2日	ハートピアセンター ロビー (文化祭)	7	0	7	2	21
3	11月4日	城東公民館 玄関ホール (文化祭)	6	0	6	1	9

4	11月9日	四季の森生涯学習センター西館ホワイエ (親子あそびフェス)	13	16	29	0	11
5	11月26日	四季の森生涯学習センター東館2階和室	7	7	14	2	11
6	11月26日	たんなん子育てふれあいセンター(赤ちゃん広場)					
7	12月17日	西紀老人福祉センター健康教育ホール	5	6	11	1	30
合計			46	36	82	6	82

### ○読書手帳の配布

読書のきっかけづくりと読書活動の推進、継続した図書館利用を促進するため、平成29年7月から配布開始。初年度には市内小中学校全児童生徒へ約3,600部を配布。平成30年度には、市名変更に伴い5,000部を作成した。令和6年度は小学校新入生286人に配布。年間の配布状況は、中学生・一般用が約72.5冊、子ども用は、小学校新入生配布分を合わせて約416.5冊となっている。

### ○配本所の周知と利用促進

令和5年11月から、ハートピアセンターには図書設置冊数を50冊から100冊に増やした。また、令和6年1月から城東支所及び今田支所での図書50冊設置の開始し、配本所運営の充実を図った。今後とも継続した周知活動に取り組む。

	城東	多紀	ハートピア	西紀	西紀分室	今田	合計
貸出冊数	37	9	556	46	120	216	984
返却冊数	271	163	1,181	149	105	577	2,446
貸出返却合計	308	172	1,737	195	225	793	3,430
(昨年度貸出返却合計)	(193)	(112)	(1,321)	(113)	(26)	(373)	(2,138)
昨年度比	+115	+60	+416	+82	+199	+420	+1,292

### ○在架予約

令和4年5月に開始した貸出中ではない資料(在架の本)も予約ができるようにした制度は、少しずつ利用者が増え、令和5年度実績は前年度の約2倍、令和6年度は前年度の約1.5倍の利用となった。

	人数(人)			冊数(冊)		
	R6	R5	(増減)	R6	R5	(増減)
中央図書館	2,154	1,439	+715	4,180	2,554	+1,626
市民センター	562	447	+115	786	569	+217
合計	2,716	1,886	+830	4,966	3,123	+1,843

## ○市民センター図書コーナーの運営

常駐の司書2名体制で、中央図書館と同様のサービスを継続して行った。4月に「万兎の部屋」が開設となり、秘書広報課と情報共有をしながら、日常管理を行った（入場者数1,001人）。より多くの方に図書コーナーを知っていただくように市民センターまつり等でのPR活動、各種イベントや講座を開催した。

## ②情報提供サービスの充実

### ○就業支援コーナーの設置

「丹波篠山に住もう帰ろう運動支援コーナー」の充実。就業起業、空き家対策等の関連図書を選書収集し、市発行の各種冊子やパンフレット類を配架して情報発信を行った。

### ○生涯学習機関等との連携

機関	日程	連携内容
市民プラザ	10月2日～ 10月27日	企画展「市民活動展」を開催。市内8団体の活動内容を写真やパネル等で紹介。
周辺公共施設 調整会議	2ヵ月に1回	中央公民館、健康課、味間認定こども園、子育てふれあいセンター及び社会福祉協議会と定期的な連絡調整会を開催。行事等の情報共有と連携を行なった。

## ③電子書籍サービス

### ○地域資料の電子書籍化とパソコン上での閲覧

カウンター横に設置している専用パソコンで閲覧提供を行なう。主に郷土資料関係の書籍の閲覧に活用している。

## ④インターネット、ICTを活用したサービスの展開

### ○視聴覚ライブラリーとの連携

視聴覚ライブラリーが制作する「まるいのテレビ」を中央図書館内で毎日放映。その他、ICTサロンの受付やライブラリー所管の機材の予約や貸出返却処理を継続して担当した。

### ○ホームページの更新

図書館ホームページを都度更新。最新の情報を提供した。

### ○SNSの開設

令和4年度開設、現在のフォロワー数は、X（80人[対前年度+10]）、Instagram（367人[対前年度+121]）、facebook（56人[対前年度+16]）※（令和7年6月現在）

## (2) 人生 100 年時代の学びを支える図書館サービス

### ①乳幼児・児童・青少年サービスの充実

#### ○ブックスタート事業

健康課と連携し、4 か月児健診時に赤ちゃんとその保護者に絵本を手渡す事業。受診されなかった場合は、翌月以降の健診時に実施した。

実施回数	対象数	実施数	実施率
12 回	217 組	197 組	90.78%

#### ○おはなし会

読み聞かせボランティア及び司書によるおはなし会を定期的で開催した。中央図書館と篠山ストーリーテリングの会との共催による「夜のおはなし会」を年 2 回、夏季(7/26)と春季(3/21)いずれも閉館後に約 1 時間開催。

おはなし会	回数	参加人数	昨年度比
中央図書館	94 回	519 人	△145 人
図書コーナー	43 回	180 人	△47 人

#### ○講演会

企画事業	日程	内容	備考
斎藤惇夫氏講演会 「私を育ててくれた図書館」	7 月 14 日	図書館にまつわる幼少期の記憶をたどり、本と図書館が子どもに与える影響をお話しいただいた。	視聴覚ホール 参加者 82 人

#### ○職場体験学習の受入

区 分	受入期間	受入校	人数
トライやるウィーク	6/4～8	丹南中、篠山東中、西紀中	3 人
	11/21. 22	篠山養護学校中学部	1 人
インターンシップ	11/12～15	篠山産業高等学校	2 人
	1/26～2/1	篠山東雲高等学校	2 人
教職員初任者研修	8/1	城南小、八上小 各 1 人	2 人
	8/7	篠山小、西紀小 各 1 人	2 人
	8/21	西紀南小	2 人
一日図書館員	8/3	小学 5.6 年	10 人
	12/8	小学 5.6 年	5 人
合 計	24 日間		29 人

## ②高齢者・障がい者サービスの充実

### ○録音資料の充実

視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」を通して、利用者のリクエストに対応するために、他館等が所持する資料をダウンロードし貸し出しを行った。

### ○対面朗読や音訳サービスの展開

視覚障害者へのサービスとして対面朗読室の活用を推進し、朗読ボランティアの定期活動を支援した。

## ③外国人（市内在住）サービスの充実

### ○市内在住の外国人に向けてのサービスの展開

入手できる範囲での洋書の整備やカウンターにコミュニケーションボードを設置した。

## ④学校園との連携

### ○学校図書館連携協議会での情報共有

9月13日に中学校部会を開催。学校図書室の現状や課題、読書傾向等の情報共有を図った。図書の現物見計らいを実施し学校用図書を選定。図書館に揃えてほしい本の希望を受け、図書館選書会議を経て7冊を購入整備。学校への団体貸出用として活用した。(参考:学校図書館支援員3人 小学校一週1回、中学校一週に1回)

### ○図書館見学の受入

市内小学3年生の社会科見学など小学校5校・幼稚園2園の234人を受入れた。図書館の利用や統計等に関する説明と質疑応答、絵本の読み聞かせや館内各所の案内、団体貸出の対応等学校ごとの要望に対応した。

### ○小中学校への団体貸出

小学校はクラス単位、その他中学校へ団体貸出を実施。教育課程で必要な資料の貸出や読書活動を支援するもの、また担当教諭の希望に沿った資料等、合計13,672冊を貸し出した。配達回数は延べ80回。

### ○ブックトーク事業

図書館司書とささやま図書館友の会の共催により市内小学校12校へ出向き5年生を対象にブックトーク(テーマを決めて、系統立てて本を紹介)を12校14クラスで実施。読書活動の支援を行うとともに図書館の利用啓発を行った。

## ⑤広域利用サービスの推進

### ○丹波市との連携

令和6年度丹波地区図書館連絡協議会で、図書館資料の除籍について、また、雑誌のリサイクルフェアの実施や回数などについて、現状説明や意見交換等を行った。

丹波地区図書館広域利用統計（他市市民の利用状況）

	個人登録者数	貸出冊数	延べ貸出人数
丹波篠山市 （丹波市民）	540	4,803	1,228
丹波市 （丹波篠山市民）	278	2,349	417

（3）丹波篠山の歴史と文化を未来につなぐ図書館

①地域資料等の修理・保存・活用事業

○地域新聞の電子化

1年に約3,000頁をデジタル化する計画で、令和6年度は、篠山新聞約3,000頁を電子化。全10年計画の約半分が終了した。

（4）市民とともに歩み、市民に愛される図書館

①専門的職員の育成と配置

○研修等への参加

各種図書館員の研修会に参加し、司書としてのスキルアップと県内図書館員との情報交換や交流を行った。研修後、各自研修内容の記録と資料を供覧するとともに、全員ミーティング時に報告を行った。

研修会	日程	会場	主催
兵庫県図書館協会講演会	6月26日	兵庫県立図書館	兵庫県図書館協会
近畿公共図書館協議会講演会	7月2日	大阪府立中央図書館	近畿公共図書館協議会
図書館協議会委員・職員視察研修	7月25日	滋賀県東近江市	中央図書館
近畿公共図書館協議会研究集会	8月23日	神戸西図書館 西神中央ホール	近畿公共図書館協議会
新任図書館長研修	9月18日 ～20日	オンライン研修	文部科学省 国立大学法人筑波大学
兵庫県図書館協会研究集会	10月11日	兵庫県立図書館	兵庫県図書館協会
障がい者サービス担当職員向け講座	11月12日 ～13日	オンライン研修	日本図書館協会
兵庫県図書館協会地区別研修「こどもと本のイベント」	11月19日	新温泉町立加藤文太郎記念図書館	兵庫県図書館協会

研修会	日程	会場	主催
全国図書館大会長崎大会	11月30日 ～ 12月1日	オンライン研修	日本図書館協会ほか
図書館等職員研修講座 レファレンス研修	12月19日	兵庫県立図書館	兵庫県立図書館
兵庫県図書館協会研究集会 「図書館の危機管理」	1月21日	加西市立図書館	兵庫県図書館協会
ブックトーク研修	1月31日	中央図書館	中央図書館
子ども読書活動推進事業スキルアップ講座	2月7日	兵庫県立図書館	兵庫県立図書館
兵庫県図書館協会研究集会 「デジタルアーカイブスを活用した学校教育連携」	2月27日	芦屋市立図書館	兵庫県立図書館

### ○司書の企画立案・実行能力の向上

- ・「毎月10日は丹波篠山だけ図書館の日」  
→継続実施。司書によるおはなし会、フルートコンサート等イベントを開催した。
- ・「七夕飾り」  
→継続実施。7月に開催。飾られた短冊は市内の神社に奉納した。
- ・「としょかん夏まつり」  
→イベントの重複を避けるため、これまで12月に開催していた「としょかんまつり」を「としょかん夏まつり」に名称変更し8月に開催した。夏にふさわしい「ちょっぴり怖いおはなし会」や「これであなたも本の探し方名人」と題した、ゲーム感覚で参加いただける企画なども用意し、多くの人でにぎわった。
- ・その他、令和6年度事業のうち、司書企画立案により実施したものあり。
- ・全事業とも、行政職・司書職それぞれの分野の役割を担い、協力して一緒に行うことを意識して取り組んだ。

### ②レファレンス機能の充実

#### ○レファレンスのデータベース化

データによる蓄積を継続。共有できる基礎データとして活用し、迅速で的確なサービスを均一的に提供できるよう努めた。登録件数7件(すべて郷土に関するもの)、登録総数418件。(※令和6年度レファレンス総件数158件)

## 図書館統計情報

1 図書館入館者数		令和4年度	令和5年度	令和6年度
○総入館者数	中央図書館	96,546	97,654	92,211
	市民センター図書コーナー	17,070	17,174	19,443
	計	113,616	114,828	111,654
○一日平均入館者数	中央図書館	336	338	322
	市民センター図書コーナー	59	60	68
	計	395	398	390
○金曜(18:00~19:00)の中央図書館入館者数		804	773	764
令和6年度(46日)	一日平均入館者数	16	16	16
○開館日数	中央図書館	287	289	286
	市民センター図書コーナー	286	288	285

  

2 登録者数		令和4年度	令和5年度	令和6年度
○登録者総数	中央図書館	28,869	29,265	29,781
	市民センター図書コーナー	3,009	3,065	3,130
	団体	778	662	658
	計	32,656	32,992	33,569
	内 丹波市	470	511	540

  

3 蔵書冊数		令和4年度	令和5年度	令和6年度
○館別蔵書冊数	中央図書館	213,896	217,569	221,791
	市民センター図書コーナー	38,683	40,521	41,957
	計	252,579	258,090	263,748

  

4 貸出利用者数及び貸出冊数		令和4年度	令和5年度	令和6年度
○実貸出利用者数 (団体を除く)	中央図書館	4,531	4,549	4,461
	市民センター図書コーナー	590	416	430
	計	5,121	4,965	4,891
○図書貸出冊数	中央図書館	241,779	265,664	234,367
	市民センター図書コーナー	27,804	29,882	32,764
	個人+団体計	269,583	295,546	267,131
	中央図書館	200,563	209,277	208,933
	市民センター図書コーナー	27,032	29,180	31,802
	個人計	227,595	238,457	240,735
○貸出密度	個人+団体貸出冊数/人口	6.7	7.4	6.8
	個人貸出冊数/人口	5.7	6.0	6.0
	兵庫県(個人貸出)平均	5.9	6.4	(R7.9月末 確定)

## 令和7年度図書館主要事業の概要

### 1 令和7年度図書館管理運営費

【当初予算額】

(単位:千円)

事業名	令和7年度	令和6年度	増減額	主な内容
図書館業務費	24,530	26,023	▲1,493	資料購入費他
図書館事業費	1,021	252	769	講演会費用他
施設管理費	29,633	16,673	12,960	施設管理委託料他
会計年度任用職員	43,070	37,740	5,330	報酬、費用弁償他
合計	98,254	80,688	17,566	

- ・図書館業務費：地域新聞電子化業務委託料の減、消耗品費10%の減。
- ・図書館事業費：ブックスタート事業にかかる費用を「業務費」から「事業費」に変更したための増。
- ・施設管理費：高圧受変電設備更新工事のための増。
- ・会計年度任用職員関係：職員の内訳は、令和7年度は司書10名、補助員1名  
人事院勧告により、報酬、手当、共済費の増

### 2 主要事業

#### (1) 市民の知的要求に応え、だれもが快適に利用できる図書館

事業名	事業概要・内容
蔵書整備 事業費:14,784千円 【継続】	生涯学習に活用される多様な蔵書の整備と充実を行う。洋書や外国語資料および地域資料の収集を積極的に進め、年間約7,000点の資料を整備する。
読書手帳の配布 【継続】	読書のきっかけづくりと読書活動の推進、継続した図書館の利用を促進する。学校を通じて小学校新1年生全員に配布する。
市民センター 図書コーナーの運営 【継続】	令和3年度から職員が常駐。市民センター図書コーナーの新刊図書の充実をはかり、「本の郷」として市民に親しまれる図書館サービスの充実を図る。
配本所の周知と利用促進 【継続】	各支所と連携し、支所での図書館利用者カードの申請及び受け取りを可能にしておき、配本所の利用を活性化するため、積極的なPRを行う。DVD、CDの返却を可に変更。
中央図書館の一時保育サービス 【新規】	中央図書館で一時保育をモデル的に実施し、保護者が図書館でゆっくり本を選んだり、読書ができる時間を提供した。 6/8(日)に実施、【申込】11世帯16名【参加】2世帯3名

## (2) 人生 100 年時代の学びを支える図書館サービス

事業名	事業概要・内容
ブックスタート事業 事業費 640 千円 【継続】	健康課が実施する 4 か月児健診時にあわせて対象者に絵本の読み聞かせを行った後、絵本を配布し、図書館の利用啓発もあわせて実施する。
障がい者サービス 事業費:40 千円 【継続】	視覚障害者情報総合ネットワーク(サピエ)を活用したデジタル図書収集整備の継続とPRを行う。
学校園との連携 【継続】	小学校でのブックトーク事業、定期的な団体貸出の実施(R5から30冊に変更)、職場体験学習や図書館見学の受入れなど学校園での読書活動の支援を行なう。また、学校図書館支援員との連携を意識し、支援員の活動や学校図書室の充実を支援する。
広域利用サービスの推進 【継続】	丹波地区図書館広域利用サービスを推進し、丹波市と当市の相互利用による資料の有効活用と生涯学習活動の充実に努める。丹波地区図書館連絡協議会による情報の交換と共有、実務者間の意見交換などを行なう。また、近隣市との連携についても検討する。
施設維持補修費 事業費:13,750 千円 【継続】	部品耐用年数が概ね20年とされるキュービクル式高圧受変電設備について、定期点検において不適合との報告を受けたことから、開設以来初となる更新工事を行う。

## (3) 丹波篠山の歴史と文化を未来につなぐ図書館

事業名	事業概要・内容
地域資料の保存管理 【継続】	地域資料の修理と電子化をすすめ、適切な保存管理および活用を継続する。地域新聞の電子化について今年度は実施しない。

## (4) 市民とともに歩み、市民に愛される図書館

事業名	事業概要・内容
おはなし会の開催 【継続】	図書館ボランティア団体の活動の支援と推進。おはなし会を開催する。
研修会等への参加 事業費:72 千円 【継続】	兵庫県立図書館研修会(図書館職員研修講座、地区別研修会など)や、その他各種研修会等に参加する。 図書館協議会委員等との先進地への視察研修を実施する。
「毎月10日は丹波篠山だけ図書館の日」事業 【継続】	地域に開かれた地域コミュニティ図書館として事業を継続する。司書の読み聞かせや語りなど技術の向上、その他イベントの発案企画、実行力を運営に活かす。

<p>YAコーナー高校生ボランティア 事業費：6千円 【継続】</p>	<p>市内の高校生に図書館ボランティアとして市民センター図書コーナーに来てもらい、YAコーナー充実に向けた意見交換や、紹介文作成等の活動をしてもらう。</p>
---	---

令和7年度事業計画

※変更となる場合があります  
※網掛け箇所は新規事業

館別	日程	事業	対象	目的・内容	事業概要該当箇所	図書館ビジョン該当箇所	SDGs該当番号
中央	6月8日	図書館での一時保育	乳幼児保護者	①図書館で保護者にゆっくりと時間を過ごしてもらおう②普段図書館に来ない潜在的利用者に来館してもらおう③乳幼児に絵本を読んでもらう喜びを知ってもらう (ニーズを把握するため、ブックスタート等でアンケートを実施)	(1) ⑥	(2) ①	目標4「教育」 目標10「人や国の不平等をなくそう」
	7月3日 ～ 8月10日	七夕飾り	一般	入館者に短冊に願い書いてもらい、七夕飾りを行う。	(1) ①	(1) ⑤	目標4「教育」 目標12「つくる責任 つかう責任」 目標15「陸の豊かさを守ろう」
	7月12日	児童文学者 脇 明子 氏 講演会	一般	「第3次子どもの読書活動推進計画」の初年度において、子どもの読書離れが進んでいる現在、「本を読むことで育つ力」と題して、児童文学者の脇明子氏に講演いただく。	(1) ③	(2) ①	目標4「教育」 目標11「住み続けられるまちづくりを」
	7月27日	化石発掘体験ワークショップ (社会教育・文化財課との共催)	小学生以上	社会教育・文化財課が主催する「化石発掘体験ワークショップ」を視聴覚ホールで開催。化石発掘体験と共に、恐竜に関する資料や化石のレプリカの展示等を実施する	(1) ③	(2) ⑤	目標4「教育」 目標15「陸の豊かさを守ろう」
	7月21日	子ども向け図書館活用講座	小学生	小学生を対象とした、図書館での本の探し方・調べもの学習等の図書館活用方法を学ぶ講座。娯楽としての図書館利用だけではなく、課題を解決するための情報提供施設であることも知ってもらう	(1) ③	(2) ①	目標4「教育」 目標11「住み続けられるまちづくりを」
	7月25日	夏の夜のおはなし会	一般	閉館後の図書館でボランティアとともにおはなし会を実施する (対象は小学校4年生以上を想定。夏休みに入っすぐの金曜日に実施)	(1) ②	(1) ⑤	目標4「教育」
	7月下 または 8月上	先進地への視察研修	協議会委員 等	(視察先調整中)	(1) ①	(1) ①	目標4「教育」 目標11「住み続けられるまちづくりを」
	8月2日	夏休み 1日図書館員	小学生 (5・6年 生)	小学5～6年生を対象に、カウンターでの本の貸出やブックカバー作業や本の修理作業など、図書館員の仕事を体験してもらい図書館に興味を持ってもらう	(1) ④	(2) ①	目標4「教育」
	8月10日	としょかん夏まつり	子ども	「毎月10日は丹波篠山だけ図書館の日」に夏まつりとして、「本さがし名人」や「ちょっぴりこわいおはなしかい」などの図書館に親んでもらえるイベントを実施する	(1) ①	(1) ⑤	目標4「教育」
8月24日	防災教室 (市民安全課との共催)	一般	自然災害が発生した際に減災できるよう、「自助」の視点に立った市民啓発を市民安全課と図書館が協働でパネル展示やワークショップ等を実施する	(1) ③ (2) ③	(2) ⑤	目標4「教育」 目標11「住み続けられるまちづくりを」 目標13「気候変動に具体的な対策を」	

館別	日程	事業	対象	目的・内容	事業概要該当箇所	図書館ビジョン該当箇所	SDGs該当番号
	9月3日	雑誌リサイクルフェア	一般	保存期限が終了した雑誌を、1人5冊まで無料で持ち帰ることができる「雑誌リサイクルフェア」を実施する	(1) ①	(1) ⑤	目標4「教育」
	9月28日	思い出の布でブックカバーづくりワークショップ	一般	着られなくなったお気に入りの衣類などを持ち込み、自分だけのブックカバーを作成。リサイクルを行うことで学校教育で取り組んでいる環境教育を社会教育施設の図書館でも取り組み、家庭教育にもつなげる	(1) ③	(2) ⑤	目標4「教育」 目標12「つくる責任 つかう責任」 目標14「海の豊かさを守ろう」 目標15「陸の豊かさを守ろう」
	10月 1~30日	市民活動展	一般	市民プラザに登録されている団体の中から希望する団体に、展示ホールにおいて活動内容等の展示を実施してもらう	(1) ①	(1) ⑤	目標4「教育」
	10月	読み聞かせ講座（全2回講座）	一般	読み聞かせ活動をされている方はもちろん、やってみたいと興味のある初心者の方にも参加いただき、読書ボランティアの養成を図る	(1) ③	(2) ① (4) ①	目標4「教育」
	10月 11月	謎解きラリー（読書週間）本の福袋	一般	所蔵の小説に、謎解きやミステリーものが多いが、借りられている本に偏りがあるのではと思い、それを解消する方法の一つとして実施 読書週間に本の福袋を実施（10月末準備、11月1日配布）	(1) ①	(1) ① (1) ⑤	目標4「教育」
	11月	ウィキペディアタウンin丹波篠山	一般	web上の百科事典「ウィキペディア」に、市内の名所、旧跡、伝説などを巡りそれぞれの項目を立て、当館所蔵の資料を基に、記事を参加者の皆さんが編集。郷土の魅力を再発見していただく	(1) ①	(2) ⑤ (3) ②	目標4「教育」 目標11「住み続けられるまちづくりを」
	11月 12月	本を使ったビンゴゲーム	児童	子どもたちが多く来館する冬休み前から、本をたくさん読みたくなるような、また図書館へ行きたくなるような、本を使ったビンゴゲームを実施する	(1) ①	(1) ⑤ (2) ①	目標4「教育」
	12月	冬休み 1日図書館員	小学生	小学5~6年生を対象に、カウンターでの本の貸出やブックカバー作業や本の修理作業など、図書館員の仕事を体験してもらい図書館に興味を持ってもらう	(1) ④	(2) ①	目標4「教育」
	12月 20日	クリスマス会	一般	おはなし会やエプロンシアター、ブラックパネルシアターなどクリスマスにちなんだイベントを実施。	(1) ①	(1) ⑤	目標4「教育」
	2月	「大人向けの図書館活用講座」	一般	大人の利用者向けに、本の探し方や書架の案内、バックヤード見学、HPでの「My本棚」、LINE連携や配本所の利用方法など説明しより深く図書館を利用してもらう	(1) ③	(1) ⑤ (2) ⑤	目標4「教育」 目標11「住み続けられるまちづくりを」

館別	日程	事業	対象	目的・内容	事業概要該当箇所	図書館ビジョン該当箇所	SDGs該当番号
	調整中	丹波篠山国際博の展示	一般	令和7年度に開催される「丹波篠山国際博」での、「市の誇る取組」を市民及び観光客にパネル展示で紹介。住んでいてよかった、また、住んでみたいという丹波篠山市をPR	(2) ③	(1) ①	目標4「教育」 目標11「住み続けられるまちづくりを」
	3月	多文化交流の展示 (多文化交流サロンへの参加)	一般	中央図書館では「多文化コーナー」を設置しており、日本人と外国人がお互いの文化等の情報を収集できる場として、イベントの情報提供や多文化理解のための展示を行う または、地域振興課主催の「多文化交流サロン」において、出張図書館を実施する	(1) ⑩ (2) ③	(1) ① (2) ④	目標4「教育」 目標10「人や国の不平等をなくそう」 目標11「住み続けられるまちづくりを」
	3月27日	春の夜のおはなし会	一般	閉館後の図書館でボランティアとともにおはなし会を実施 (対象は小学校4年生以上を想定。春休みに入っすぐの金曜日に実施)	(1) ②	(1) ⑤	目標4「教育」
	随時	児童に向けた郷土に関する情報の発信	児童	郷土に関する資料だけでなく、民話や丹波篠山市出身の著名人・市の取組等を紹介した、ブックリストやリーフレットを作成	(1) ①	(3) ①	目標4「教育」 目標11「住み続けられるまちづくりを」
中央 市民	調整中	中高生から本を読みたい気持ちにさせる文章やイラストのPOPを募集	中高生	同世代からの発信により、本の読書力向上を図る。また、現役中高生が読む本のジャンル等を把握することで、求める本を並べ活性化させる	(2) ① (3) ④	(2) ①	目標4「教育」

館別	日程	事業	対象	目的・内容	事業概要該当箇所	図書館ビジョン該当箇所	SDGs該当番号
市民	5月23日	YAコーナー高校生ボランティア	高校生	市内の高校生に図書館ボランティアとして図書コーナーに来てもらい、YAコーナー充実に向けた意見交換や、各種事業への参加等の活動をしてもらう	(3) ④	(1) ③	目標4「教育」
	6月11日	大人向けおりがみワークショップ	一般	大人や上級者向けにおりがみワークショップを実施。自ら学ぶ楽しさを楽しむとともに、さらなるレベルアップを図り、指導ボランティアへの関心を促す	(1) ②	(1) ⑤	目標4「教育」
	7月3日 ～ 8月10日	七夕飾り	一般	入館者に短冊に願い書いてもらい、七夕飾りを行う。	(1) ①	(1) ⑤	目標4「教育」 目標12「つくる責任 つかう責任」 目標15「陸の豊かさを守ろう」
	8月3日	夏の子ども向けおりがみワークショップ	幼児 小学生	幼児・小学校低学年向けのおりがみワークショップ。受講生の交流の場とし、来館者増加を促すとともに、資料を手にする機会の拡充及び家庭教育へも繋げる	(1) ②	(1) ⑤	目標4「教育」
	8月 下旬	YA世代 推しの1冊	中学生 高校生	上記高校生ボランティアと共に企画。市内中学生と高校生が自分の「推しの1冊」を紹介する。中高生が事業参加することにより、図書や図書館に触れる入口にする	(3) ④	(1) ③	目標4「教育」
	9月3日	雑誌リサイクルフェア	一般	保存期限が終了した雑誌を、1人5冊まで無料で持ち帰ることができる「雑誌リサイクルフェア」を実施する	(1) ①	(1) ⑤	目標4「教育」
	11月	懐かしの本郷図書館回顧展 (レコード鑑賞会)	一般	市民センターの倉庫に眠っていた本郷図書館のレコードのうちから選曲し、観賞や展示を行う	(1) ①	(1) ③ (1) ⑤	目標4「教育」 目標13「気候変動に具体的な対策を」
	12月	クリスマス飾り付け クリスマスウィーク	一般	おはなし会など、クリスマスにちなんだイベントを実施	(1) ①	(1) ⑤	目標4「教育」
	12月6日	英語で楽しむおはなし会	子ども	中学校に勤務しているALT (Assistant Language Teacher) とともに英語でのおはなし会などを実施する	(3) ②	(1) ③ (1) ⑤	目標4「教育」
	12月 調整中	冬の子ども向けおりがみワークショップ	幼児 小学生	幼児・小学校低学年向けのおりがみワークショップ。受講生の交流の場とし、来館者増加を促すとともに、資料を手にする機会の拡充及び家庭教育へも繋げる	(1) ②	(1) ⑤	目標4「教育」
調整中	「万兎の部屋」活用事業	一般	庁内関係部署との連携で実施 (調整中)	(3) ①	(1) ③	目標4「教育」	

館別	日程	事業	対象	目的・内容	事業概要該当箇所	図書館ビジョン該当箇所	SDGs該当番号
通年		おはなし会	子ども	中央図書館及び市民センター図書コーナーで実施しているボランティア団体と図書館のおはなし会	(1) ②	(4) ①	目標4「教育」
	10日	毎月10日は丹波篠山だけ図書館の日(中央)	一般	毎月10日にBGMを流し、読み聞かせやエプロンシアター等を実施	(1) ⑥	(1) ⑤	目標4「教育」
	第3日曜日	絵手紙教室(中央)	一般	井上由樹子さんによる絵手紙講座(定期開催)	(1) ③	(2) ⑤	目標4「教育」
	随時	図書館見学受け入れ	小学生 幼稚園児	市内小学3年生の社会見学等で来館。図書館の利用の説明や絵本の読み聞かせ、各所案内を行う	(4) ④	(2) ②	目標4「教育」
	随時	ブックトーク(中央)	小学生	小学校5年生を対象に各学校で実施する	(4) ③	(2) ①	目標4「教育」
	最終木曜日	ブックスタート(中央)	4カ月児	健康課と連携し、4カ月児健診時に赤ちゃんとその保護者に絵本を手渡す	(1) ⑤	(2) ②	目標4「教育」
	5月8日 ～16日	蔵書点検		中央・市民で所蔵する資料が、登録してあるデータと実際に一致するかを1点ずつ確認する、資料の棚卸し作業の実施	(1) ①	(1) ①	目標4「教育」
	6月4日 ～7日	トライやるウィーク受け入れ(中央)	中学生	職場体験学習の受け入れ(丹南中2名・篠山中1名)	(4) ⑤	(2) ②	目標4「教育」
	8月7日	教職員初任者研修受け入れ(中央)	教職員初任者	職場体験学習の受け入れ	(4) ⑤	(2) ②	目標4「教育」
	11月	インターンシップ受け入れ(中央)	高校生	職場体験学習の受け入れ	(4) ⑤	(2) ②	目標4「教育」
随時	出張図書館(中央)	乳幼児 子ども 一般	子育てサークルや地域イベント等に図書館が出張し、本の貸出等を行う	(1) ⑤	(1) ④ (2) ①	目標4「教育」	

○丹波篠山市図書館条例

平成14年10月15日

条例第39号

改正 平成15年3月12日条例第10号

平成17年9月13日条例第33号

平成24年3月16日条例第16号

(設置)

第1条 図書館法(昭和25年法律第118号。以下「法」という。)に基づき、図書、記録、視聴覚資料その他必要な資料を収集、整理及び保存して市民等の利用に供し、その生涯学習、調査研究及び文化的発展等に資することを目的とし、丹波篠山市立中央図書館(以下「図書館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第2条 図書館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
丹波篠山市立中央図書館	丹波篠山市西吹88番地1

(業務)

第3条 図書館は、法第3条に掲げる事項のほか、図書館の目的を達成するために必要な業務を行う。

(職員)

第4条 図書館に、館長、専門的職員、事務職員及びその他必要な職員を置く。

(図書館協議会)

第5条 図書館に、法第14条の規定により、丹波篠山市図書館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(定数等)

第6条 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験のある者並びに公募に応募した者のうちから教育委員会が委嘱する。

2 協議会の委員の定数は、7人以内とする。

3 委員の任期は2年とし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は、再任されることができる。

(委任)

第7条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成15年4月1日から施行する。  
(篠山市立本郷図書館条例の廃止)
- 2 篠山市立本郷図書館条例(平成11年篠山市条例第86号)は、廃止する。  
(篠山市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)
- 3 篠山市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例(平成11年篠山市条例第46号)の一部を次のように改正する。

[次のよう]略

附 則(平成15年3月12日条例第10号)

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

附 則(平成17年9月13日条例第33号)抄

(施行期日)

- 1 この条例は、平成18年4月1日から施行する。  
(篠山市林業後継者活動活性化施設条例の廃止)
- 2 篠山市林業後継者活動活性化施設条例(平成11年篠山市条例第169号)は、廃止する。  
(経過措置)
- 3 この条例の施行の際現に旧条例の規定によりした許可、その他の行為は、それぞれこの条例の相当規定によりしたものとみなす。

(篠山市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

- 4 篠山市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例(平成11年篠山市条例第46号)の一部を次のように改正する。

[次のよう]略

附 則(平成24年3月16日条例第16号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

## ○丹波篠山市図書館協議会規則

平成14年12月10日

教委規則第10号

(趣旨)

第1条 この規則は、丹波篠山市図書館条例第5条に規定する丹波篠山市図書館協議会（以下「協議会」という。）の運営について、必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べることができる。

(会長及び副会長)

第3条 協議会に会長及び副会長各1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を行う。

5 会長及び副会長の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。

(会議)

第4条 協議会の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 会議は、委員の過半数以上の出席がなければ、成立しない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

4 会議は会長が特に必要があると認めるときは、委員以外のものを会議に出席させて意見を聴き、又は説明を求めることができる。

(庶務)

第5条 協議会の庶務は、丹波篠山市立中央図書館において行う。

(委任)

第6条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮り、別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成15年4月1日から施行する。

(篠山市立本郷図書館協議会規則の廃止)

2 篠山市立本郷図書館協議会規則（平成11年篠山市教育委員会規則第20号）は、廃止する。